



# SAIDAIJI JC REPORT

2002年スローガン

## ベースボール

～白球を追いかける少年のように～



# 新

# 会

# 員

# 加

# 入



### 入倉 栄作

西大寺J.C.に入会して約1カ月が経ちましたが入会前に抱いていたイメージとはかなり違うな、というのが今の感想です。何の為に入会したかというと特に理由は見当たりませんが、これから先の活動を通じて徐々にわかってくるものだろうと思っています。これから所先輩方にいろいろご指導をいただきながらがんばっていこうと思いますのでよろしくお願ひ致します。

### 近藤 友一

この度、J.C.に入会させて頂きました株式会社丸通地建の近藤と申します。

邑久町で育ち高校から邑久町を離れ寮生活を行い、その後大学と9年間離れていました。邑久町に帰って来た時は、バイク等ができておりさまざまなカルチャーショックを受けました。社会人として邑久町に帰り平成10年より邑久町で不動産屋を営業しております。当初は近年の経済情勢もあり、どうしようかと思案しましたが、不景気の時期こそ経営の根本に重点をおき営業していなければと開

業しました。

高校時代から邑久町・西大寺を離れていたせい自分なりに邑久・西大寺のいい面・悪い面が見え、今の仕事に大いに役立っていると思います。

仕事から地域の皆様にお世話になることが多く、自分ひとりでは小さな力しかありませんが、こつこつと日々やっていたら、いつか解ってもらえる日が来ると信じ、邑久町の創邑会にも参加させて頂いております。

J.C.について何一つ知らない私ですが、先輩方のご指導のもと頑張っていこうと思っておりますので、皆様宜しくお願ひいたします。



# 岡山ブロック 会員大会

副理事長 延原寛紀



去る、6月2日(日)里庄総合文化ホールに於いて(社)笠岡青年会議所主管によります第38回岡山ブロック会員大会式典が行なわれ当LOMからは山名理事長を始め約15名が参加を致しました。式典ではブロック役員団に続き県下15LOM理事長が登壇、岡山ブロック協議会の結束を改めて披露しました。

そして、高木会長より次年度ブロック会長に現(社)岡山青年会議所理事長の岡崎正裕君が決定した旨、ご報告があり会場の各地メンバーより盛大な拍手が沸き起こりました。

その後、ブロックアワーとして「リング」「らせん」の著者であります鈴木光司さんを講師としてお迎えし「新しいうたを歌おう」のお題で、ご講演を頂きました。そして、式典終了後場所を笠岡千拓地水と緑のふれあい広場に移動し大懇親会が行なわれ開会にあたり高木会長が大型トラクターで登場されるという、なにか似合ひすぎる感もありましたが心和むシーンでありました。

アトラクションも笠岡千拓オトリ大走査線と干草とたわむれようということで丸い大きな干草を転

がす競争ありで大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。そのなかでも特にグリコンタイム(グリーンコンシューマー・緑の消費者、環境と健康にいいという視点で商品を選ぶ人をいう)を思い、これからの懇親会のあり方を考える機会をも与えて頂きました。ほんとうに最初から最後まで笠岡らしい、そして心のこもった会員

\*\*\*\*\*

## J P文化協議会を開催して

監事 歳森 宏

大会であったと思います。我々西大寺青年会議所としても感謝の気持ちと青年らしく新しい時代を切り開いていく気持ちを常に持ち続けたいとあらためて感じました。最後に、松尾理事長はじめ吉岡実行委員長また、(社)笠岡青年会議所の全メンバーの皆様にかから御礼申し上げます。お世話になりました。

平成14年6月28日西大寺市民会館第3会議室において、今年もJ P文化協議会が開催されました。J P文化協議会とはJ C(西大寺青年会議所)と西大寺上道地区の幼稚園、小学校、中学校のP T A関係者との協議会のことで年一回の常任委員会、総会、講演会が具体的にこなわれ、少年はだかまつりや吉井川フェスタなどの講演もしていただいています。

こういった会はおそらく全国でもめずらしく今年から始まった学校週5日制の上でも、時代にあった団体であるといえます。今年を担当委員会の一人でもあり、西大寺小学校のP T A会長として常任

委員として参加させていただきました。(2年ほど前から幼少中学校の西大寺上道地区の幹事校(役員校)が常任委員としてこの会の役員になることになっています。)常任委員会では諸般の都合により久本利典先輩(現西大寺中学校P T A会長)に会の進行についてご無理をお願いしましたが、慎重な中スムーズに議事も進行し意見交換も活発におこなわれました。

(そういう意味で川染博文先輩・芥子山小学校P T A会長の存在が大きかったのかもしれない。ありがとうございました。)総会においては無事に山名理事長が今年度のJ P文化協議会の会長に就任

され、講演会では岡山大学教授の北神正行先生に「学校週5日制と新たな教育づくり」という演題でご講演をいただきました。

大人並にストレスを抱えている子供達が本当の意味で世の中を生き抜くために導入された教育改革その目玉の一つが学校週5日制であるといえます。それだけ今の子供達をめぐると環境は深刻な状態になっているのかもしれない。

子供達のことを学校だけに任せるのではなくて保護者・地域が手をとりあって地域の子供として育てていく。実際にその新しい環境づくりを目指して大人達がどのように連携し、子供達に支援していくか。本格的な議論と実例がこれからはずっと続いていくと思います。青年会議所も地域のいろんな団体との連携を模索しながらJ P文化協議会を通して変わっていかないといけない。そのように感じました。もっと青年会議所からでもP T Aからでも普段から連絡を取り合いながらお互いの主張をし、交流を深め新しくバージョンアップしたJ P文化協議会に生まれ変わることでできればと思います。私個人も残りJ C人生も短く(3年半)なってきましたが今後にも積極的に参加していきたいと思っています。

副委員長 藤本 英俊

去る6月12日、水曜日の午後7時より、西大寺商工会議所3階大会議室にて、6月例会が開催されました。その中で講演があり、後藤裕先生をお招きし、「私はこのように企業を再建した」―発想の転換が私を支えてくれた―という演題でご講演して頂きました。

後藤先生は大阪府豊中市のご出身で、昭和45年3月に同志社大学の文学部をご卒業後、幾多の輝かしい功績を積んでこられ、債務超過体質の企業の短期経営再建の実行、渡米し4千トンの大型プレス機を低コストで購入し生産高を引き上げること成功、国際情報などを配信する



後藤裕先生によるご講演

会社の設立、米国アメリカ大学院大学や米国グリーンリーフ大学にて大学経済博士号を取得され客員教授に就任、中国の西北大学の顧問に就任、平成12年6月にグリーンリーフ大学客員教授を退任後、平成13年4月に岡山県の倉敷芸術科学大学国際教養部起業学科助教に就任し今に至り、逆転の発想を実践するという起業学科の講義に活躍されています。例会では、ご自身の豊富な体験を基に、大変分かりやすく解説をして頂き、和やかな中にも真に迫るお話をされ、思いつかなかったこと、又は実際は思いついていなかったけれど行動に移っていないということに気付いたのは、私だけではなかったと思います。「出来の悪い奴」が「出来の悪い企業」を救う。加工度を高めて、儲からない仕事で受注拡大。材料の歩留まり向上でコスト削減という中でコスト・ダウンは一点集中型で、企業再建で未来をバラ色に。以上のことをお話の要点として進められました。世の中をよく知るには、女性誌をよく読んで読んで、色々な視点から勉強しなさいということをおっしゃっておられました。この言葉が私の心に残って離れません。今回この講演を聴かれたメンバーの皆さんも、忘れかけた何かを再認識して頂ければ幸いです。

## 吉井川フェスタ中止

地球市民委員会委員長 安藤 修

「吉井川フェスタ」は今年で11年目、今年の「吉井川フェスタ2002」は昨年と同様に市民の皆様方に川に足を踏み入れて頂き、また川の見える風景の中でいくらかの時間を過ごして頂く事でより「吉井川」を身近に感じて頂けたらというテーマのもと準備を進めて来ました。

本来ならこの時期は協賛、後援、協力の各企業や団体の皆様に依頼書を送らせて頂いているはずなのですが、本年度の第3回「吉井川フェスタ実行委員会」でイベント開催日当日、会場の一部が工事中になる事が発覚しました。それにより、緊急の「実行委員会」で協議した結果、来場者の安全などを考慮し、本年度「吉井川フェスタ2002」のイベント部分を中止する事となりました。

「吉井川フェスタ2002」は吉井川を身近に体験するイベント部分、川に関する情報や吉井川流域の各団体の活動内容などを提供する情報発信の部分、自らの手で吉井川をきれいにしておこうとする清掃活動の部分の3つで構成されています。残念ながら本年度のフェスタの一番大きくて、また力を入れていたイベント部分は中止となりましたが、情報の発信部分と清掃活

動は続けていきます。

「吉井川フェスタ実行委員会」ではホームページを昨年より開設していますが、もっと皆様に見て頂けるように内容の充実を図りたいと思います。吉井川流域での遊びながら川に触れ合えるイベントなどの検索にも役立つものになればと思います。また、本年度の情報発信のパネル展では昭和30年代の吉井川の海水浴景や現在の土手の無い頃の風景の写真も展示する予定です。懐かしさの他に何かを感じて頂けたらと思います。パネル展の日時、場所は今のところ未定ですが、8月の中旬を予定しています。

昨年の西栗倉に引き続き、今年は大原町の「黒谷川」に「源流の碑」が建立されます。フェスタのイベント会場で披露される予定でしたが、このような事になってしまい、「黒谷川の自然を守る会」の皆さんには御迷惑をお掛けしますが、西大寺支所などで市民の皆様に見て頂きたいと思えます。(8月4日～8月10日)

最後にこの度のイベント中止で各企業、団体をはじめ、多くの皆様に御迷惑をおかけした事を深くお詫び申し上げます。

# 『平成14年度 ボーイスカウト西大寺 第4団 育成会』に出席して

地球ふるさと委員会委員 田中 拓也

去る6月6日(木)、西大寺商工会議所、3階大会議室にて、『平成14年度 ボーイスカウト西大寺第4団 育成会』が開催されました。本年も、ボーイスカウトからは、羽原団長をはじめ、藤原リーダー、今中リーダー、に出席をいただきました。また西大寺青年会議所からは、山名理事長、中村副理事長をはじめ、地球ふるさと委員会のメンバーの出席となりました。

ボーイスカウト西大寺第4団は、今年で40周年となり、キャンプ等を中心とした記念事業を計画しているとの事です。しかし、子供の人数の減少、上部組織との関係、団委員会のありかた等の問題もあることが分かりました。本年度西大寺青年会議所は、山名理事長の元、様々な改革を行ってきています。ボーイスカウト西大寺第4団においても、団のありかたや、子供たちの保護者との関係を含めて、様々な改革を行わなければならない時期にきているという気がしました。

ボーイスカウト西大寺第4団には、『少年はだか祭り』、『吉井川フェスタ』において、多大な協力を頂いています。また、ボーイスカウト西大寺第4団においても、『吉井川フェスタ』や吉井川流域との交流が、年間を通じてのメインの活動になってきているとの事です。これからも、お互いに協力し合い、良い関係を保つていけたら、と思います。

## ご出産おめでとう!



平成14年6月7日生  
事務局長 松岡 幸司  
次女 みなちゃん

## 行・事・予・定

- 7月11日 7月例会 (西大寺商工会議所)
- 14日 中国地区フォーラム2002
- 21日 家族会 (玉野市 直島)
- 27・28日 サマーコンファレンス (横浜)
- 8月14日 8月例会 (西大寺商工会議所)

発行日 平成14年7月10日  
発行責任者 山名 宏典  
編集責任者 岡田 康志  
発行所 (社)西大寺青年会議所  
印刷所 フジイ印刷株式会社

## 次年度理事長予定者決定



## プロフィール

氏名 延原 寛紀  
生年月日 1964年12月30日生  
勤務先 新光運輸(株) 専務取締役

## J C 歴

- 1992年 西大寺JC入会 会員親睦委員会委員
- 1993年 ももたろう委員会 委員  
岡山ブロック議長幹事
- 1994年 渉外委員会 副委員長
- 1995年 渉外委員会 副委員長  
中国地区出向委員
- 1996年 理事 会員親睦委員会 委員長
- 1997年 理事 広報情報委員会 委員長
- 1998年 理事 地球市民委員会 委員長
- 1999年 副理事長
- 2000年 理事 総務委員会 委員長
- 2001年 理事 未来委員会 委員長
- 2002年 副理事長

(社)西大寺青年会議所は会員を大募集しております。

男女問いません。

私達と一緒に地域創りしませんか。

問い合わせ先

西大寺商工会議所内  
(社)西大寺青年会議所事務局  
TEL086-942-0101